

# 第5次総合計画後期実施計画策定に関する調査特別委員会

【調査概要】 R元.9.24(第1回)・10.4開催(第2回)・11.18開催(第3回)

第5次総合計画後期実施計画策定については、調査特別委員会を設置し、主要施策の進捗状況、事業実施状況(前期実施計画)等を確認し、後期実施計画(案)、関連主要計画の内容を集中的に調査しました。

なお、町提出の資料に基づき全議員が主要施策の個別評価を行い、さらに各常任委員会において、所管する施策を審議・評価し、議会の「行政評価(事務事業評価)」として町側に手交しております。



平野隆雄調査特別委員長

## 【論点と意見】 町民の意欲を喚起する高い目標設定を望む。

### 1. がんばる地元企業等応援条例の見直しについて

がんばる地元企業等応援制度は、平成29年度から「期限を設けない常設型」として創設された制度である。

制度施行後、毎年度、約3億5千万円以上の施設投資と、これに対する約1億4千万円の助成を行っているが、町内経済への波及効果も一定の成果があったことや、財政推計を踏まえての新制度への方針転換は理解する。しかし、現制度の恩恵を受けられなかった人に対する不公平感払しょくの検討、創設方針の転換を産業団体等に丁寧に説明・協議する場を早急に確保のうえ、新制度への万全な移行を望む。

### 2. 福島町公共施設維持保全計画の見直しについて

- ① 白符チロップ館と旧吉岡支所の埋蔵文化財の考え方について、早急に整理されたい。
- ② 温泉健康保養センターは、長年の雨漏りや老朽化による修理など厳しい状況が続いており、早急に今後の施設の在り方(縮小建替・大規模改修)を検討・決定されたい。
- ③ 吉岡漁港内の製氷貯氷施設について、受益者負担の観点から、福島吉岡漁業協同組合の経営状況の注視と、適正な施設運営が図られるよう指導されたい。
- ④ 現在の道の駅は、現行の道の駅認定基準に達しておらず、「新たな道の駅」の検討をしているとのことであるが、今後の道の駅の在り方を示していただきたい。

### 3. 第2期福島町総合戦略の策定について

現在、当町が目指す令和22年総人口2,225人に対し、国は1,997人と推計したが、平成30年に国が令和27年の推計人口1,324人を示したこと、また、当町の平成30年3月末の人口4,186人が推計人口を上回る数値を示したことなどを踏まえ、次期計画策定に当たっては時点修正を加えるよう考慮されたい。

### 4. 第5次福島町総合計画後期実施計画(案)について

#### 【基本方向】 産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成

現状の林業専用道整備事業は、民有林や町有林の除間伐・伐採整備を主眼としているが、しいたけ栽培のホダ木確保にも有効であることから、過去のホダ木搬出場所等を調査し、有効な効果が期待できる事業推進を検討願いたい。

#### 【基本方向】 学び合い、たくましい人を育てる

令和4年度、当町で開催される全国中学校相撲大会について、福島町相撲協会会員や町職員との協力による人的体制固め・大会経費の確保等、遺漏なきよう対応願いたい。

#### 【第5次福島町総合計画後期実施計画策定に対する総括的意見】

基本計画・後期実施計画政策等調書の数値目標設定が消極的であり、特に継続事業については、長い期間、設定に変化がない事業が多く、ほとんどの事業評価が「A」となっており、努力の形跡が感じられない。厳しい状況の中で、協働で挑戦する強い意志を示し、町民の意欲を喚起する高い目標設定を望む。